

日本共産党戸田市議団

6日、本会議場で本田哲市議は党戸田市議団を代表し、戸田市国民健康保険税条例の賦課限度額引き上げの専決処分の承認を求める議案に対し、反対討論をおこないました。討論の大意は以下の通りです。



国民健康保険税の賦課限度額引き上げの専決処分承認に賛成した議員

【戸田の会】	古屋としみつ
酒井いくろう	【公明党】
野澤茂雅	竹内正明
佐藤太信	石川清明
辺見智子	三輪なお子
小沼さゆり	三浦のぶお
宮内そうこ	【平政会】
矢澤青河	榎本守明
【政策 TODA】	斎藤直子
遠藤英樹	【りっけん戸田】
細田昌孝	小金沢優
そごう拓也	【保守の会】
小山大輔	河合ゆうすけ

※浅生和英議員（戸田の会）は、議長のた
め採決には加わっていません。

※各会派の議員名順序は、戸田市議会ホームページの掲載順を参考にしています。

今回の条例の一部改正
は、賦課限度額の医療分
を65万円から66万円に、
後期高齢支援金等分を24
万円から26万円に引き上
げるというものです。引
き上げで負担増となる世
帯は約400世帯、負担
額は約600万円になり
ます。

国保税の賦課限度額は
毎年引き上げられてきま

した。2019（令和元）年度と比較すると、「医療分」は58万円から66万円の8万円増、「後期高齢支援金等分」は19万円から26万円の7万円増、「介護納付金分」は16万円から17万円の1万円増となっており、賦課限度額全体で16万円も負担が増えています。さらに2008（平成20）年度の賦課限度額の合計額68万円から41万円も負担が増えており、被保険者の負担は増え続けています。

国が自治体の一般会計

国保税の賦課限度額引き
上げの専決処分の承認に

反对

民主戸田

No.1892
2025年6月15日
発行
日本共産党
戸田市委員会
048-443-8332



市議会ホームページ
QRコード

※市議団HPは現在
更新準備中です



からの繰入れを赤字とし、その解消を進めているが、年金者、低所得者、中小零細企業が多く加入している国民健康保険制度の維持を被保険者の保険税で調整することはすでに限界が来ています。今おこなうべきは、国が社会保障である国民健康保険制度に対ししっかりと責任を持ち、被保険者の命と健康を守るために国庫補助率を増やし、真に持続可能な保険制度にすべきと考えます。

戸田市選管
渡邊るい氏
当選無効に

9日に開かれた議会運営委員会で、浅生和英議長より渡邊るい氏の当選無効の報告がありました。以下の通りです。

「先日（5月29日）、渡辺るい議員の辞職につい

ただきました。が、その後、6月3日に、さいた

ま地方裁判所から通知が届きました。内容は、公職選挙法違反事件について

て、略式命令となり、この命令が、令和7年5月24日に確定したとのこと。なお、これを受け、6月4日付けで当選無効

戸田公園駅で9の日宣伝

6月9日夕方、「9の日の参加」を戸田公園駅で10名の参加でおこないました。

いるもので、通算210回目の宣伝でした。憲法ティツシュ118個、チラシ45部、署名は「憲法改悪を許さない全国署名」4筆でした。（とだ九条の会代表代行 久保山隆之）

【戸田市選挙管理委員会の告示文】

令和 7 年 1 月 26 日執行の戸田市議会議員一般選挙における渡邊壘の当選は、公職選挙法第 251 条の規定により無効となったので、同法第 107 条の規定により告示する。

令和 7 年 6 月 4 日 戸田市選挙管理委
員会 委員長 萩原平壽

となつた旨を選挙管理委員会から告示がなされておりますことをご報告させていただきます」。

注) この告示文は、戸田市役所西側出入口の歩道上に設置している「掲示場」に張り出されています。

重度心身
障害者

入院時の食事代負担等の助成廃止

2026年（令和8年）10月1日から

パブコメ
募集

戸田市は、重度心身障害者の福祉の増進を図るため、重度心身障害者に係る医療費（各種医療保険に係る自己負担金）の一部を県と市で助成をしています。対象者は、身体障害者手帳1～3級、療育手帳①・A・B、精神障害者保健福祉手帳1級、後期高齢者医療制度の障害認定者です。

6日に開かれた、健康福祉常任委員会において障害福祉課から、「重度心身障害者医療費助成制度」につ

いて2点見直しをおこなうため、「戸田市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部改正（案）」に係るパブリック・コメント（パブコメ）を実施すると

の報告がありました。見直しの1点目は、「対象者の拡大」。精神障害者保健福祉手帳2級所持者を新たに対象者（精神科通院医療費に限る）とする。実施は、2026年1月1日から。

また、担当課からは「戸田市障害者施策推進協議会（戸田市身体障害者福祉会や戸田市心身しょうがい児（者）を守る親の会等で

構成する協議会）にも伝える」との答弁がありました。2点の見直しに対するパブコメの概要は以下の通りです。（健康福祉常任委員会委員 本田哲）

1. 募集期間
2025年7月1日（火）～31日（木）まで
2. 資料公開場所
市ホームページ、担当課（市役所2階6番窓口障害福祉課）、市政情報コーナー（市役所2階西側）、各福祉センター（東部・西部・新曽）、笹目コミュニティセンター（コンパル）、戸田公園駅前行政センター2階、新曽南多世代交流館（さくらパ

世界日報 無許可で庁舎8階に

庁舎内管理の徹底求める

5日に議会傍聴で市役所8階を訪れた市民から、「8階にあるロッカーの上に『政党機関紙購読強要の実態』との見出しがついた世界日報の新聞が置いてあった」との声が、7日、本田

市議に届けられました。本田市議は、その日のうちに市役所8階に行き新聞が置いてあることを確認。9日の月曜日、庁舎管理担当

課と議会事務局の立会いのもと新聞が置かれていることを改めて確認し、庁舎管理担当に「いつ誰が、何の目的で置いたのかは解らないが、市が許可していない物が庁舎内に置かれているのは大問題。警備員等の庁舎内巡回で、不審な物が置かれていないか等の確認を徹底してほしい」と要望。

庁舎管理担当課も議会事務局も、許可をしていない物や不審なものが置かれていた場合は速やかに回収するなどの対応を強化していくと述べました。

病棟の稼働病床

12床から15床に増床

2025年
6月16日～

6日に開かれた、健康福祉常任委員会です市民医療センター診療室から「6月16日から病棟の稼働病床を12床から15床へ増床する」との報告がありました。

これまでの病棟の稼働病床の状況は、2022（令

和4）年4月18日に、常勤内科医2人の退職等があり「病棟を一時休止」。23（令和5）年11月1日に、常勤内科医1人の採用等で「病棟一部（8床）の再開」。

24（令和5）年8月1日に、看護師4人の採用等で「病

床12床へ増床」となっていました。

今回の増床について診療室担当課長からは、「今年度、4月に看護師1人、6月に看護師1人、看護助手1人を採用。内科医師は充足していないが、看護師や看護助手の体制が強化されたため、稼働病床を増床した」との説明がありました。

